

令和8年度 第3学年 技術科 年間指導計画 予定年間授業時数： 17.5時間

使用教科書：東京書籍「技術・家庭 技術分野」

使用副教材：正進社「技術・家庭ノート 技術分野」

教科の学習目標：ものづくりなどの実践的・体験的な学習活動を通して、材料と加工、エネルギー変換、生物育成及び情報に関する基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、技術と社会や環境とのかかわりについて理解を深め、技術を適切に評価し活用する能力と態度を育てる。

<学習内容>

学期	学習単元	学習内容
1	4編2章 双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題解決（構想・制作） 4編3章 計測・制御のプログラミングによる問題解決 4編4章 社会の発展と情報の技術	<ul style="list-style-type: none"> ・双方向性のあるコンテンツについて知る。 ・問題を発見し課題を設定する。 ・コンテンツを構想する。 ・コンテンツのプログラムを制作、評価、改善・修正する。 ・計測・制御システムについて知る。 ・身の回りにある問題を発見し、課題を設定する。 ・計測・制御システムを構想する。 ・情報の技術の最適化について考える。
2	材料と加工の技術・エネルギー変換の技術 1編2章 製作図の設計・製作 2 製作の作業手順を考えて製作しよう	<ul style="list-style-type: none"> ・材料を切断する。・材料の加工方法を考える。 ・けがき線にしたがってデザイン通りに加工する。 ・素材や用途にあった表面処理をし評価をする。
3	3 完成した製作品を評価しよう 総合的な問題解決	<ul style="list-style-type: none"> ・これからの情報の技術の活用について考える。 ・材料を切断する。・材料の加工方法を考える。 ・けがき線にしたがってデザイン通りに加工する。 ・素材や用途にあった表面処理をし、評価をする。 ・これまでに学習したことを生かして、課題の設定と問題解決の方法を考える。

評価の観点・方法

以下の観点に基づき、生徒一人一人の活動をしっかりと評価します。

観点(全体に対する割合)	観点の趣旨	評価資料
観点1(34%) 知識・技能	計測・制御システムにおける構成や、その中のプログラムによる情報の処理についての知識を身に付けている。設計に基づき、簡単な計測・制御のプログラムを作成できる。	実習作品 定期テスト 課題
観点2(33%) 思考・判断・表現	計測・制御の目的や条件を明確にし、社会的、環境的および経済的側面などから情報処理の手順を変更した場合の効果と比較・検討したうえで、計測・制御に適した情報処理の手順を決定している。	レポート 実習作品 定期テスト 実習の観察
観点3(33%) 主体的に学習に取り組む態度	木材材料や情報に関する技術の課題を進んで見つけ、社会的、環境的および経済的側面などから比較・検討しようとするとともに、適切な解決策を示そうとしている。	授業の様子(発言・態度) ワーク(達成状況) 実習作品 課題